

# 残留農薬は心配ない

食品衛生法の改正で昨年5月29日から、すべての農薬に残留基準が設定されました。そこで、札幌市内で購入した紅茶葉とウーロン茶葉の残留農薬についてテストしました。

## 紅茶

紅茶15銘柄について、93種類の残留農薬をテストしました。4銘柄から3種類の農薬を検出しましたが、いずれも残留農薬基準を下回っていました。

No8からは有機リン系の殺虫剤フェントエート（残留基準0.1ppm）を0.020ppm検出しました。No11、13、15からは有機塩素系殺虫剤硫酸エンドスルファン（残留基準30ppm）を0.065～0.135ppmの範囲で検出しました。また、No13からは有機リン系殺虫剤エチオン（残留基準0.3ppm）も0.015ppm検出しました。

## ウーロン茶

ウーロン茶7銘柄についても、93種類の残留農薬をテストしました。No5からピレスロイド系殺虫剤フェンプロパトリン（残留基準25ppm）を0.839ppm、有機リン系殺虫剤のクロルピリホス（残留基準10ppm）を0.147

## テストした紅茶

No	商品名	原産国名
1	リフトン イエローラベル ティーバッグ	ケニア、スリランカ、他
2	リフトンエクストラクオリティ セイロンEQ	スリランカ
3	トワイニング紅茶 プリンソフウエルズ	中国
4	ストランド クラシックペコ	スリランカ
5	キャピタル 特選紅茶アッサム	インド
6	メルローズ紅茶 レストランブレンドダーズリン	インド
7	KENYA TEA 農薬を使わずに育てた紅茶	ケニア



▲テストした紅茶（一部）

ppm 検出しました。他は不検出でした。

検出した農薬はいずれも茶の残留基準を大きく下回っていました。

## まとめ

紅茶から3種類、ウーロン茶から2種類の農薬を検出しましたが、いずれも残留基準を下回りました。飲用するときはさらに減少しますので、健康上の心配はないと考えられます。

## テストしたウーロン茶

No	商品名（製造、販売、輸入者）	原産国名
1	烏龍茶特選水仙（中村カイロ商会）	中国
2	烏龍茶（日健フーズ）	中国
3	耀盛号烏龍茶（耀盛号）	中国
4	鉄観音烏龍茶（小谷穀粉）	台湾、中国
5	台湾青茶凍頂烏龍（日本緑茶センター）	台湾
6	中国福建省産烏龍茶（ダイエー）	中国
7	中国名茶館烏龍茶（日本茶販売）	中国

No	商品名	原産国名
8	日東紅茶 こく味のある紅茶 アッサムブレンド	インド、スリランカ
9	霧の紅茶 有機栽培 オリジナルブレンド	スリランカ、インド
10	スダップ ジャワティー	インドネシア
11	アーマッド イングリッシュ ブレックファースト	インド、ケニア、スリランカ
12	ウエッジウッドティー オレンジペコ	スリランカ
13	ミントティー ダージリン	インド
14	テトレイ アールグレー	中国
15	ハロッズ アッサム	インド